

---

文化財保存修復研究センターの伊藤幸司教授が  
カンボジアで開催された UNESCO 主催のワークショップで技術指導  
11/10 (金) には専門技術講演会を学内で開催

---

東北芸術工科大学（山形市上桜田／学長 中山ダイスケ）文化財保存修復研究センターの伊藤幸司教授は UNESCO<sup>※1</sup>（ユネスコ）が主催する「Workshop on Emergency Preparedness and Underwater Cultural Heritage in Southeast Asia」（開催国：カンボジア）に招聘され、10月27日～28日の2日間、トレハロース含浸処理法<sup>※2</sup>のワークショップを行いました。

11/10（金）には、伊藤幸司教授によるトレハロース含浸処理法の専門技術講演会を本学 文化財保存修復研究センターで開催します。

※1 UNESCO：国際連合教育科学文化機関。教育、科学、文化の発展と推進、世界遺産の登録などを目的とした国際連合の専門機関。  
※2 トレハロース含浸処理法：出土遺物を長く保存するために糖類の一種であり、食品にも利用されているトレハロース (trehalose) の水溶液を遺物に浸透させ、固化させる。従来こうした用途に用いてきたポリエチレングリコール (PEG) が持つ様々な課題を解決し、さらに安価な処理方法として注目されている。

●カンボジアでのワークショップについて

参加国は東ティモールを含む ASEAN10ヶ国と、豪州、ハンガリー、アメリカ、フランス、日本など15カ国の代表で、保存処理分野・水中文化遺産分野の専門家ほかカンボジア文化芸術省含むカンボジア政府関係者など60余名が参加。

伊藤教授は参加者に向けて、トレハロース含浸処理が海底出土沈船の保存処理に有効であり、高温多湿の東アジア地域で如何に重要な保存処理法であるのかプレゼンテーションを行いました。

※日本から参加した研究者：今津節生氏（奈良大学学長）、木村淳氏（東海大学准教授）



UNESCOが特定の保存処理方法にスポットライトを当てて2日間のセミナーを行うことは異例のことであり、東南アジア地域での海底遺跡出土文化財の保存が急務であることと、日本発信のトレハロース含浸処理法への信頼と期待の表れと言えます。

各国の参加者からは、日本での研修や自国への技術移転を求める要望が寄せられました。

### ●本学で開催される専門技術講演会について

文化財保存処理に関わっている方、もしくは今後保存処理を実施する計画のある方を対象としたトレハロース含浸処理法の専門技術講演会（講師：伊藤幸司 教授）を11/10（金）に開催します。

当日は講演会に加え、参加者が事前に持ち込んだ木製品や木製品サンプルを使用したトレハロース含浸処理の体験が行われます。

開催日時：2023年11月10日（金）13:00～16:00

開催場所：東北芸術工科大学（山形市上桜田3-4-5）文化財保存修復研究センター

一般申込：現在はリモートでの参加のみ受け付けています

つきましては、伊藤幸司教授のトレハロース含浸処理法に関する取り組みをより多くの皆様にご周知いただきたく、取材・広報のご協力をお願いいたします。

### ■伊藤幸司教授プロフィール



大学卒業後、大阪市文化財協会で埋蔵文化財の保存処理、分析、技術研究に従事。糖類、特にトレハロースを用いた文化財の保存技術を研究・開発、実用化してきた。それに伴って再生エネルギーを利用した太陽熱集熱方式の保存処理装置の設計、実用化も行う。モンゴル、タイ、ロシア、中国などからの要請を受けて技術移転、研究交流するなど、研究成果の発信に努める。その一方、現在は途絶え失われてしまった金属加工技術の復元的研究も行っている。

2022年東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター教授 着任。

### ■文化財保存修復研究センターについて

文化財保存修復研究センターは、山形・東北に遺された文化財の保存修復実務による地域への貢献と教育への還元を活動理念として、2001年4月に設立。以来、地域の自治体や博物館・美術館等、寺院・神社、コミュニティ等の委託を受け、絵画、彫刻、工芸品、歴史資料、埋蔵文化財を対象とした保存修復・保存科学研究を手掛けています。

透過X線撮影装置、X線回折分析装置、高温高圧脱塩処理装置などの設備を設置し、伝統を再度見直し、さまざまな地域文化遺産を次世代へ継承していく気運の高まりとともに増加すると予想される文化財保存修復の受託・研究事業へのニーズに応えると同時に、社会的な貢献を目指しています。2024年3月には新たにX線CT装置を導入し、文化財研究のさらなる進展を目指します。

文化財保存修復研究センターHP：<http://www.iccp.jp/>

### ■本件に関するお問い合わせ先

東北芸術工科大学 地域連携推進課 TEL：023-627-2217